

平成19年度 特色ある大学教育支援プログラム (特色GP)

「教育の場」としての

—— 図書館の持つ教育力を教育に活かす ——

図書館の積極的活用



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

図書館を教育に活かす

図書館を通じて育てる自立した「個」

明治大学は、「「個」を強くする大学」としてさまざまな教育改革を行っています。その柱の1つが、「教育の場」としての図書館の積極的な活用です。

昨今、若者の「活字離れ」が、日本全体の問題として指摘されています。本学も例外ではなく、学生の中には、インターネット上の情報を無批判に集め、切り貼りすることでレポートを作成する者もあり、十分な読書量に裏づけられた知識や論理性を欠いた議論・論述を見受けることもしばしばです。これは、学生が図書館を有効活用していないことの一つの表れであり、このままでは、学部の教育効果の低下、ひいては、これからの知識基盤社会において必要な知力の低下を招くことが危惧されます。

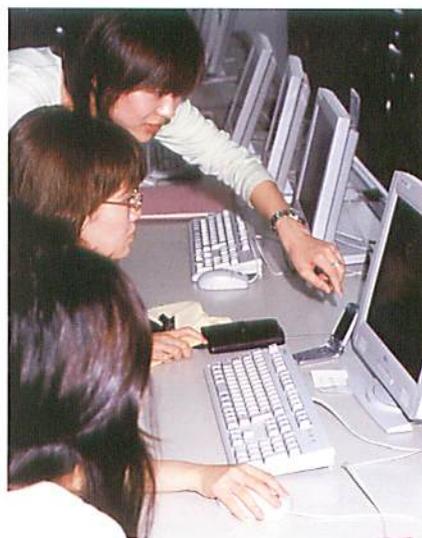
インターネット上に情報が氾濫している現代社会においてこそ、学生が図書館を使いこなすこと、すなわち、本学図書館はもとより、世界中に所蔵され、流通する膨大な図書、文献、情報に、学生自らがアクセスし、適切な資料を見つけ出し、その批判的検証・利用を行なって、レポートや論文に仕上げていく能力を身につけることは、教育学習に計り知れない効果をもたらすものと期待されます。

また、現代は生涯学習の時代といわれ、一生涯学習していくことが求められています。図書館が生涯学習の拠点として果たす社会的役割は将来に向けてさらに増大していくことでしょう。自立した「個」として現代社会を生き抜き、高度情報化社会に有為な人材となるためにも、図書館を有効に活用する能力が必要です。大学教育の早い段階で図書館に慣れ親しみ、それを活用する能力を身につけた学生を育成する意義は非常に大きいと考えるものです。

このような動機と背景のもとで取り組んでいるのが、全学部生が履修可能な正課授業「学部間共通総合講座「図書館活用法」」による体系的な情報リテラシー教育や、各学部の授業の中で実施する「ゼミツアー」などによる、多角的な教育活動の展開です。

本学は図書館を学術情報の集積地としてのみならず、「教育の場」として積極的に位置づけ、図書館の活用を教育課程に組織的・継続的に取り込んでいます。学部教育における導入教育として、また専門教育の学習支援に役立つ取組として、学生からも、教員からも、高い評価を受けています。

この取組は、これからの知識基盤社会で能力を発揮できる「個」を図書館を通じて育成し、本学の教育目標を達成しようとするものです。



■ 図書館の持つ教育力を教育に活かす



さまざまな教育プログラムの提案

取組の具体的内容

図書館発の多元的教育活動は次のような具体的な柱によって支えられ、実現されています。

1. 図書館活用法

「図書館活用法」は、2000年度にスタートしました。これは、学部間共通総合講座という全学部学生に開かれた選択科目の1つであり、半期、2単位となっています。

半期14回で、それぞれの講義は有機的に連関しています。情報・資料検索技術の実践的学習を土台に、集めた情報・知識をレポート・論文の作成に生かす基本的技法を学びます。また、情報を利用する上でのマナーを学ぶ「インターネット講習」、社会性の涵養を考慮した「図書館と著作権法」など、社会的マナーや倫理的な問題について学生に認識を持ってもらう仕組みにもなっています。

実学的要素（スキルの獲得）と、図書を通じた学びの楽しみ、そして現代的課題を伝える要素も併せ持つよう配慮しています。

教員講師と、図書館員が講義担当を分担し、協働して教育にあたっているところが本講座の大きな特色です。

「図書館活用法」 2007年度和泉キャンパス前期開講（「2007年度 学部間共通総合講座シラバス」より）

日程	テーマ	担当者	日程	テーマ	担当者
1 4月18日	大学図書館への招待	商学部教授 広沢 絵里子	8 6月6日	新聞・雑誌情報の探し方(1) 【実習】	図書館整理課 柴尾 晋 図書館総合サービス課 矢野 恵子
2 4月25日	インターネット講習	図書館庶務課 丸山 郁太郎	9 6月13日	新聞・雑誌情報の探し方(2) 【実習】	図書館整理課 柴尾 晋 図書館総合サービス課 矢野 恵子
3 5月2日	明治大学図書館の施設・蔵書・サービス —和泉図書館を中心に—	図書館和泉図書課 中村 正也	10 6月20日	書物の楽しみ —四面書庫の壁—	商学部准教授 久松 健一 「訪書月刊」編集長 田村 治秀
4 5月9日	図書情報の探し方(1) 【実習】	図書館整理課 金沢 敦子 図書館整理課 伊藤 朋子	11 6月27日	レポート・論文の書き方	商学部教授 広沢 絵里子
5 5月16日	図書情報の探し方(2) 【実習】	図書館整理課 金沢 敦子 図書館整理課 伊藤 朋子	12 7月4日	インターネット情報の探し方(1) 【実習】	図書館庶務課 中林 雅士 図書館庶務課 丸山 郁太郎
6 5月23日	図書の歴史と図書館	図書館生田図書課 高橋 美子	13 7月11日	さまざまな文献の取り扱い方 【実習】	図書館和泉図書課 中村 正也 図書館総合サービス課 平田 さくら
7 5月30日	図書による情報の探し方	図書館総合サービス課 平田 さくら	14 7月18日	図書館と著作権	図書館事務局 飯澤 文夫

2. ゼミツアー

「ゼミツアー」は、一般的な図書館ガイダンスとは異なり、個々の授業科目を担当する教員の要望に応じて、図書館員が図書館の施設・資料案内、情報検索実習などをコーディネートする点に大きな特徴があります。

1年生向けの導入教育、あるいは、上級学年を対象とした専門教育など、授業に応じて担当教員との事前打ち合わせを丁寧に行い、効果的な教育支援を実現しています。



取組の具体的内容

3. デジタルコンテンツ

『図書館活用法』のデジタルコンテンツを作成し、大学及び図書館ホームページで公開しています。これにより、「活用法」の内容は、授業を履修している学生の予習・復習だけでなく、卒業生や広く社会人にも役立ててもらえるようになりました。学外からの閲覧が可能です。これは、本学の教育内容を、学内外で幅広く共有してもらうための試みです。

現在は「明大OPACの使い方」、「雑誌情報の探し方」、「図書館と著作権」について学べるほか、本学の各キャンパス図書館のガイドツアーを動画で見ることができます。コンテンツはさらに拡大していく計画です。(URL <http://www.lib.meiji.ac.jp>)



4. その他の取組

- (1) フリーツアー ……ゼミを履修していなかったり、ゼミツアーの際に出席できなかった学生に配慮して、個人で申し込める図書館利用ガイドツアーを常時実施しています。
- (2) 出前講義 ……教員の要請に応じて、授業時間に図書館員が教室に出向いて、ゼミツアー同様の図書館利用指導を行います。
- (3) 各種ガイダンス ……新規に導入した外部データベースや電子ジャーナルの使い方などの講習会、適宜実施しています。

本学は、強い「個」を育成するために図書館の活用を積極的に教育課程に導入してきました。今後も、この方針を堅持し、この取組の一層の充実をはかっていくつもりです。

この取組は学生への学習支援という側面だけでなく、教員の多様な教育活動を積極的にサポートする側面もあります。図書館の持つ教育力を十二分に大学教育に活かしてゆくため、今後も長期的視野にたつて、この取組を進化させていきます。

■お問い合わせ



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

◆明治大学図書館
◆明治大学教育改革支援本部
E-mail lib-gp@lib.meiji.ac.jp

TEL. 03-3296-4241 FAX. 03-3296-2366
TEL. 03-3296-4130 FAX. 03-3296-4341
URL <http://www.meiji.ac.jp>